

宇部市インターネット市民モニターアンケート結果集計のまとめ

実施期間：H29.7.27～8.10

対象者数：471人、回答者数：129人、回答率：27.4%

今回のアンケートでは、**68.2%**の人が地域社会の中で障害のある人に対する配慮や工夫が進んできていると感じている一方、**76.0%**の人が障害のあることを理由に仕事や収入等で差別があると答えています。

また、国の「障害者差別解消法」を知っていると答えた人は**44.2%**、「宇部市障害のある人へのコミュニケーション支援条例」を知っている人は**27.1%**にとどまっており、国や市の取組みがまだまだ浸透していないことが伺えます。

自由意見では、「障害者という枠で見るのではなく、個性として生かせるまちづくりが必要」、「障害者と交流する機会を増やすとともに、障害に関することについて情報発信をおこない広く周知してほしい」との意見がありました。